

■当金庫の沿革～にしん116年の歩み～

当金庫は明治42年5月の創立以来、今年で116周年を迎えました。これもひとえに皆さまの温かいご支援の賜ものであり、心から感謝を申しあげます。これからも、地域の皆さまとともに歩んでまいります。

明治	
明治42年 5月	産業組合法により無限責任彦島村信用組合を設立
昭和	
昭和 8年 6月	彦島信用組合に名称を変更
昭和16年 3月	有限責任彦島信用組合に組織を変更
昭和23年 4月	下関信用組合を合併し関彦信用組合に名称を変更
昭和24年 3月	本所を下関市大和町へ新築移転
昭和26年 10月	信用金庫法に基づき下関信用金庫に名称を変更 店舗は本店を含めて6か店で新発足
昭和39年 8月	営業地区を従来の下関市の他に豊浦郡の一円及び厚狹郡山陽町まで拡張
昭和40年 11月	下関市公金収納事務の取扱を開始
昭和41年 10月	山口県公金収納事務の取扱を開始
昭和42年 6月	下関市細江町に新店新築
昭和44年 6月	営業地区を小野田市、宇部市及び厚狹郡全域まで拡張
昭和45年 12月	日本銀行と当座取引を開始
昭和46年 3月	異種金融機関との為替取引業務を開始
11月	日本銀行歳入代理店業務の取扱を開始
昭和48年 8月	営業地区を北九州市まで拡張
昭和51年 10月	オンラインによる業務の取扱を開始
昭和53年 11月	外貨両替商業業務の取扱を開始
昭和54年 2月	全銀データ通信システムに加盟
昭和55年 5月	日本銀行国債代理店の事務取扱を開始
昭和57年 5月	新総合オンラインシステムを稼働
〃	CDオンライン提携システムを開始
昭和58年 6月	国債等の窓口販売業務の取扱を開始
昭和59年 7月	アンサーサービスの開始
昭和61年 12月	預金積金残高1,000億円達成
昭和62年 8月	県下信用金庫と山口銀行とのCDオンライン地域提携を開始
昭和63年 10月	第3次オンラインシステムを稼働
平成	
平成元年 10月	外国為替公認銀行の認可を受け外国為替業務の取扱を開始
平成 4年 6月	営業地区を美祿市まで拡張
8月	子会社(株)しもんビジネス設立(平成19年1月に(株)にしんビジネスへ名称変更)
平成 6年 9月	事業量(預金積金+貸出金)3,000億円達成
12月	創立85周年記念事業の一環として「美と安らぎのある街づくり実行委員会」を発足
平成 8年 4月	「美と安らぎのある街づくり実行委員会」による第一期事業が完成し文学碑を下関市に寄贈
11月	福利厚生施設として下関市王司にグランド用地を取得
平成 9年 2月	土・日・祝日稼働しているATMのカードによる入金取扱を開始
3月	昭和49年より毎年実施してきた下関市社会福祉協議会への寄付累計額が1億2,000万円となる
6月	王司総合グランド完成
8月	本店別館を開設
平成10年 5月	全店で外貨両替業務を開始
10月	向井町支店を福浦支店向井町出張所へ移行
平成11年 1月	欧州統一通貨ユーロの旅行小切手取扱を開始
3月	郵便貯金(現:ゆうちょ銀行)ATMとの相互接続を開始
〃	ATMによる、通帳出金取扱を開始(カード発行口座に限る)
〃	店外ATM「下関市役所出張所」を開設
4月	投資信託窓口販売業務の取扱を開始
6月	全国信用金庫連合会(現:信金中央金庫)総合研究所による経営コンサルティングを受診
11月	下関信用金庫史を刊行
12月	預金積金残高2,000億円達成
平成12年 3月	デビットカードサービス取扱を開始
〃	山口県内信用金庫間のネット利用手数料無料化を開始

平成12年 4月	店外ATM「下関駅出張所」を開設
7月	監査法人太田昭和センチュリー(現:EY新日本有限責任監査法人)と監査契約を締結
12月	全国の信用金庫が設置する現金自動預払機ネット利用手数料無料化を開始
平成13年 1月	インターネット・モバイル及びテレホンバンキングサービスの取扱を開始
3月	スポーツ振興くじ「toto」の当選金払戻業務の取扱を開始
〃	別館に住宅金融公庫(現:住宅金融支援機構)の受託業務本部取扱事務所を移設
〃	別館の金庫資料コーナー及びギャラリーコーナーを市民に開放
4月	保険商品募集業務の取扱を開始
10月	県下信用金庫と山口銀行との現金自動預払機ネット利用手数料無料化「YSネットサービス」の取扱を開始
11月	大坪支店の新築移転と同時に、店名を向洋支店へ変更
平成14年 6月	平成13年11月に発刊した「ひこしま発展誌」が平成13年度の第21回信用金庫PRコンクール「PR小冊子部門」で最優秀賞を受賞
10月	生命保険窓販業務の取扱を開始
〃	シーモール支店を本店営業部シーモール出張所へ移行
平成15年 1月	新インターネットバンキング取扱を開始
2月	個人向け国債の募集業務の取扱を開始
3月	大和町支店を本店に統合
6月	豊浦信用金庫との合併に関する基本協定書に調印
9月	豊浦信用金庫との合併契約書調印
平成16年 4月	調査室を新設
5月	営業地区を山口市、吉敷郡まで拡張
7月	豊浦信用金庫と合併
10月	国民生活金融公庫(現:日本政策金融公庫)との業務連携・協力契約締結
平成17年 2月	江ノ浦支店を福浦支店に統合
7月	長府中央営業部(現:長府中央支店)リニューアル
9月	唐戸中央支店を唐戸支店に統合
10月	下関市指定代理金融機関に指定
〃	Pay-easy(ペイジー)口座振替受付サービスの取扱を開始
11月	長府駅前支店新築移転
12月	長府才川支店を長府駅前支店に統合
平成18年 1月	4業態(信金・信組・労金・第二地銀)間ATM相互入金業務の取扱を開始
2月	吉南信用金庫・宇部信用金庫・津和野信用金庫との合併に関する基本協定書に調印
4月	下関市立中央病院(現:下関市立市民病院)に総括出納取扱金融機関として下関市立中央病院派出所(現:下関市立市民病院派出所)を設置
5月	吉南信用金庫・宇部信用金庫・津和野信用金庫との合併契約書調印
平成19年 1月	吉南信用金庫・宇部信用金庫・津和野信用金庫と合併し、西中国信用金庫に名称を変更
〃	預金積金残高5,000億円達成
6月	店外ATM「サンバル川棚出張所」を開設
9月	上宇部支店を琴芝支店に統合
〃	西新川支店を宇部支店に統合
11月	西岐波支店を床波支店に統合
〃	恩田支店を琴芝支店に統合
〃	丸尾支店を東岐波支店に統合
平成20年 3月	第1回山口県しんきん合同ビジネスフェア2008を開催
6月	平成19年8月に制作・発行した「下関市内の戦前町並み界隈図シリーズ」が、平成19年度の第27回信用金庫PRコンクール「チラシ・パンフレット部門」で特別賞を受賞
7月	吉賀支店新築移転
9月	生雲支店を徳佐支店に統合
11月	岩国信用金庫・下関市職員信用組合との合併に関する基本協定書に調印

当金庫の沿革～にしん116年の歩み～

平成21年	3月	岩国信用金庫・下関市職員信用組合との合併契約書調印
	5月	創立100周年記念式典及び記念講演会を開催
	6月	「にしん2009カレンダー」が、平成20年度の第28回信用金庫PRコンクール「カレンダー部門」で優秀賞を受賞
	9月	山口支店移転
	10月	岩国信用金庫・下関市職員信用組合と合併
	12月	店外ATM「ゆめシティ共同出張所」を開設
平成22年	6月	「にしん2010カレンダー」が、平成21年度の第29回信用金庫PRコンクール「カレンダー部門」で優秀賞を受賞
	10月	川中支店新築移転
	12月	旧岩国信用金庫創立100周年記念事業として文化講演会を開催
平成23年	7月	長府中央支店(旧豊浦信用金庫)創立100周年記念講演会を開催
	9月	豊田支店を「店舗内店舗」として菊川支店内に移転
	〃	柿木支店を「店舗内店舗」として吉賀支店内に移転
	11月	宇部支店新築移転
平成24年	2月	ときわ支店を廃止、ときわ代理店を開設
	〃	錦町支店を廃止、錦町代理店を開設
	4月	一の宮支店新築移転
	7月	小月支店新築移転
	9月	新下関支店を一の宮支店に統合
	〃	益田支店を移転、おとよし支店を益田支店に統合
	11月	中小企業経営力強化支援法に基づき、経営革新等支援機関に認定
	〃	新垢田出張所を廃止、新垢田代理店を開設
平成25年	1月	山口県警察と「サイバー犯罪共同対処協定書」を締結
	〃	宇部市・宇部商工会議所・くすのき商工会と「産業振興連携協定」を締結
	2月	電子記録債権サービス(でんさいサービス)の取扱を開始
	9月	豊田支店を菊川支店に統合
	〃	柿木支店を吉賀支店に統合
	〃	今津支店を岩国中央支店に統合
	10月	福岡ひびき信用金庫、大分みらい信用金庫との間で「大規模災害発生時の相互応援に関する覚書」を締結
	11月	シーモール出張所を廃止、シーモール代理店を開設
	〃	向井町出張所を廃止、向井町代理店を開設
	〃	通津支店を廃止、通津代理店を開設
	〃	店外ATM「ゆめマート下関出張所」を開設
平成26年	6月	西中国信用金庫誕生7周年記念事業として「にしん文庫図書」寄贈
平成27年	4月	取引先の海外子会社への直接融資の取扱を開始
	6月	地域サポート部を新設
	9月	下関市と「地方創生に係る包括連携に関する協定」を締結
	10月	(一社)山口県中小企業診断協会と「中小企業等支援及び地方創生に向けた地域経済活性化に関する連携覚書」を締結
	12月	磐田信用金庫(現:浜松いわた信用金庫)と「連携・協力に関する協定」を締結
平成28年	1月	宇部市と「地方創生に係る包括連携に関する協定」を締結
	2月	山口県と「地方創生に係る包括連携に関する協定」を締結
	〃	下関市と「海外展開に関する連携協定(下関地域商社協定)」を締結
	3月	王司支店新築移転
	〃	山口市と「地方創生に係る包括連携に関する協定」を締結
	7月	岩国市と「地方創生に係る包括連携に関する協定」を締結
平成29年	1月	西中国信用金庫誕生10周年記念事業として「地方創生事業支援金」「にしん文庫図書」寄贈
	8月	山口県内の営業地区を県内全域に拡張
	9月	山の田支店を新築移転、熊野支店を「店舗内店舗」として山の田支店内に移転、新垢田代理店を山の田支店に統合
	〃	上郷支店を小郡支店に統合
	〃	向洋支店を本店営業部向洋出張所へ移行
	〃	安岡支店を「店舗内店舗」としてかじくり支店内に移転
	〃	長府支店を「店舗内店舗」として長府中央支店内に移転
	〃	玖珂支店を「店舗内店舗」として岩国支店内に移転

平成29年	11月	ときわ代理店を東新川支店に統合
	〃	向井町代理店を「店舗内店舗」として福浦支店内に移転
平成30年	2月	店外ATM「フジ小郡店出張所」を開設
	〃	「にしん2018カレンダー」が、第37回信用金庫PRコンクール「カレンダー部門」で優秀賞を受賞
	6月	萩山口信用金庫、東山口信用金庫及び山口県信用保証協会と「包括連携に関する覚書」を締結
平成31年	2月	創立110周年記念講演会を開催
	3月	宇部新川支店を「店舗内店舗」として宇部支店内に移転
令和		
令和元年	5月	西宇部支店を新築移転、厚南支店を「店舗内店舗」として西宇部支店内に移転
	〃	創立110周年記念式典開催
	6月	創立110周年記念事業として「にしん文庫図書」寄贈
	9月	西山支店を福浦支店西山出張所へ移行
	〃	後田支店を宝町支店後田出張所へ移行
	〃	汐入支店を新地支店汐入出張所へ移行
	〃	嘉川支店を小郡支店嘉川出張所へ移行
	〃	秋芳支店を小郡支店秋芳出張所へ移行
	〃	徳佐支店を津和野支店徳佐出張所へ移行
	〃	日原支店を津和野支店日原出張所へ移行
	〃	シーモール代理店を本店営業部シーモール出張所へ移行
	〃	向井町代理店を福浦支店向井町出張所へ移行
	〃	通津代理店を南岩国支店通津出張所へ移行
	〃	錦町代理店を岩国支店錦町出張所へ移行
	〃	子会社(株)にしんビジネス解散
令和2年	1月	「にしん2020カレンダー」が、第39回信用金庫PRコンクール「カレンダー部門」で優秀賞を受賞
	9月	萩山口信用金庫、東山口信用金庫、信金中央金庫及び信金キャピタル(株)と「事業承継支援に関する協定」締結及び「山口県しんさん事業承継パートナーシップ」を発足
	10月	出資証券のペーパーレス化(証券不発行)を開始
令和3年	2月	萩山口信用金庫、東山口信用金庫と「SDGsの推進に関する連携協定」締結及び「SDGsの共同施策の宣言」を公表
	〃	(株)商工組合中央金庫と「事業再生・経営改善支援に関する業務協力契約」を締結
	5月	日原出張所移転
	6月	「企業支援プロジェクトチーム」発足
	8月	「にしん健康経営宣言」制定
令和4年	4月	福浦支店・向井町出張所を新築移転、西山出張所を「店舗内店舗」として福浦支店・向井町出張所内に移転
	9月	後田出張所を宝町支店に統合
	〃	汐入出張所を新地支店に統合
	10月	下関市役所出張所を唐戸支店に統合
	11月	山口大学前支店を山口支店に統合
	〃	秋芳出張所を「店舗内店舗」として小郡支店内に移転
令和5年	9月	スマホ決済サービス「Bank Pay」の取扱を開始
	〃	日本政策金融公庫と「事業承継支援に関する覚書」を締結
	〃	「こたら送金」の取扱を開始
	10月	インターネット支店を開設
	〃	「西中国信用金庫アプリ」の提供を開始
	〃	通津出張所を南岩国支店に統合
	〃	錦町出張所を「店舗内店舗」として岩国支店・玖珂支店内に移転
令和6年	2月	キャッシュレス決済サービス「楽天ペイ」の取扱を開始
	7月	和奏監査法人と監査契約を締結
	10月	シーモール出張所を本店営業部に統合
	〃	西山出張所を福浦支店に統合
	〃	安岡支店をかじくり支店に統合
	〃	長府支店を長府中央支店に統合
	〃	宇部新川支店を宇部支店に統合
	〃	厚南支店を西宇部支店に統合
	〃	玖珂支店を岩国支店に統合
	〃	本村支店を福浦支店本村出張所へ移行